

報道関係者各位

業界初！構造設計のサブスクリプションサービス 月々 18 万円で構造設計部を設立できる「My 構造設計室」

建築構造躯体計画とコスト管理提案を案件の契約前から支援

建築物の構造設計を主力とするさくら構造株式会社（本社：北海道札幌市 代表取締役 田中 真一 以下、さくら構造）は、月々 18 万円から構造設計室を設立するのと同程度の恩恵が受けられる「My 構造設計室」というサブスクリプションサービスを開始しました。建築事務所内に構造設計室がある場合、案件ごとに外注するのに比べると適切な躯体コスト管理が可能です。しかし、構造設計部を設立するためにはエキスパート人材を数名の件費と採用費など、非常に高額なコストが発生します。さくら構造株式会社では、豊富な人材を投入し、建築構造躯体計画とコスト管理提案を案件の契約前から建築事務所を支援します。

業界初 My 構造設計室とは？

初期費用 0 円、月額 18 万円で自社に
構造設計室があるのと同じ効果が得られます

さくら構造の計算では、構造設計経験者を 2 人採用し構造設計室を立ち上げようとする、と、イニシャルコストが 5,900,000 円、ランニングコストが 12,500,000 円/年かかってしまいます。

構造設計経験者を 2 人採用し構造設計室を立ち上げる費用

項目	イニシャルコスト	ランニングコスト
パソコン	400,000円	—
一貫計算プログラム	2,000,000円	200,000円
その他ソフト（2次部材、エクセル等）	500,000円	100,000円
採用活動費	2,000,000円	—
人件費（給与と社会保険料含）	—	2名 12,000,000円
雑費（専門書、文具、オフィス家具等）	1,000,000円	200,000円
合計	5,900,000円	12,500,000円

専任の担当者を派遣し、案件の契約前から建築構造躯体計画とコスト管理についてプロの目線から切り込むことが出来るので、受注率もアップ

年に 1 回の敵報告や施主への提案同行といったサービスも付帯しており、サポート体制も万全です

そもそもさくら構造のスタッフは安心できるのか

年間 800 案件を超える国内トップの
構造設計棟数実績と技術力、
構造設計者 70 名の組織力

&

建築物の高耐震化、適正な
躯体数量での建物の設計を
目的とした「SV システム工法」



詳しくはこちら

この 2 軸から依頼主の構造設計について徹底的にサポートします

<https://sakura-kozo.jp/kouzou-consulting/>

【お問い合わせ】

さくら構造株式会社 担当 小林（こばやし）

Mail kozo@sakura-kozo.jp TEL 011-214-1651 (9:00 ~ 18:00)

